

地域包括支援センターとは

地域包括支援センターは、住み慣れた地域で尊厳ある、その人らしい生活を継続することができるよう、さまざまな方面から高齢者の皆さんを支える機関です。

主任ケアマネージャー、社会福祉士など、さまざまな専門職員が互いに連携をとりながら「チーム」として総合的に皆さんを支えています。

地域包括支援センター

高齢者の皆さんやその家族をさまざまな面から支援します。
相談は無料です！お気軽にご相談ください！

TEL 78-5333

皆さんの権利を守ります

お金の管理や契約などについて支援する制度を紹介したり、ご利用のお手伝いをします。また、悪質な訪問販売などによる消費者被害や虐待に対する相談も受け付けています。



自立した生活を支援

要介護認定で要支援1、2と判定された人は、介護予防のサービスを受けることができます。介護予防サービスの利用に必要な介護予防ケアプランを作成します。また、要介護認定で非該当と判定された人は介護予防のプログラムを利用できます。



様々な面から皆さんを支えます

高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政といった関係機関との連携体制づくりを進めています。また、様々な職種や機関とのネットワークづくりも進めており自宅でも施設でも途切れることなく支援が受けられるよう高齢者の生活全体を支えています。

様々な相談を無料で受け付けます

介護や医療、生活に関することなど、お気軽に相談してください。職員がみなさんのお宅を個別訪問して、どのような支援が必要かを把握し適切なサービスにつなぎます。



高齢者の安心した暮らしのために

地域包括支援センター特集



進む高齢化
高齢化率約36・3%

現在、全国的な問題となっている高齢化、熊本県では平成25年度の高齢化率は27・2%で、27年後の平成52年度には36・4%と高齢化の急速な進行が問題となっています。しかし、本町ではすでに下記グラフのとおり県内平均の27年後と同水準の高齢化率36・3%という状況です。さらに地区別で見ますと高齢化率約50%と2人に1人が65歳以上の高齢という地区も出てきています。

高齢化による様々な問題

そんな中、地域で暮らす高齢者や高齢者の介護をしている家族はさまざまな問題や悩みを抱えて生活している人も少なくありません。そのような高齢者や家族の支えとなるのが「地域包括支援センター」です。地域包括支援センターは平成18年度に設置され、高齢者に関するさまざまな悩みや問題に対応する何でも相談窓口として日々活躍しています。今後は、高齢化の進行と共に、その役割もより一層大きくなっていくものと思われれます。そこで今回は、そんな地域包括支援センターについて取り上げてみました。

地区別高齢化率一覧表 H 26.12.1現在 (※ 数値には介護保険施設入所者も含む)

